

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	水浦 邦子	
(※)第2期実施計画の事業名	環境基本計画推進事業		財務会計上の事業名	環境基本計画推進事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041	1	財務会計上の短縮番号	3535	
総合計画の体系	章	第3章人.環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目1地球環境施策の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	平成22年度に策定した「池田市新環境基本計画」を市民、事業者、行政等の協働により推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	・各種主体との協働事業の実施、しくみ作り ・計画の進捗にかかる調査(環境保全審議会) ・市地球温暖化防止実行計画の策定 ・計画の進捗状況の調査及び推進方法の検討 など
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	環境基本法第36条、地球温暖化対策の推進に関する法律第20条第3項

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		1,015		1,056		3,048		1,074		288.6%
主な 内訳	消耗品費	1		12		15		25		126.1%
	印刷製本費	300		308		308		309		100.1%
	調査委託料	693		713		2,700		713		378.7%
人件費(人・千円)		0.90	7,020	0.90	7,020	0.73	5,548	0.92	6,808	81.1%
内 訳	正職員	0.90	7,020	0.90	7,020	0.73	5,548	0.92	6,808	81.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		8,035		8,076		8,596		7,882		106.4%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	8,035		8,076		8,596		7,882		106.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	新環境基本計画の進捗状況等に関する調査事業は既に外部業者に委託し、効率化を図っている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	現在の計画目標年度が平成32年度となっていることから、次期計画の策定の際には外部業者への委託を予定している。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	専門知識を必要とする新環境基本計画の改定業務等については、一部をアウトソーシングすることで、計画の質の向上と事務の簡略化を図ることができると考えられる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内の温室効果ガス排出量の削減	%	24.0	算定中	算定中	30.0	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内のごみ排出量の削減	%	7.3	7.8	8.0	10.0	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				目標を平成32年度に設定しているため。 (温室効果ガス排出量平成11年度比30%削減、ごみ排出量平成20年度比20%削減)					
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		温室効果ガス排出量とごみ排出量は、ともに減少傾向にあり、一人一人の意識の向上を図ることで、より効率的な施策の推進が可能であるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年度に現計画の中間見直し業務を行った。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	新環境基本計画の中間見直しの結果を踏まえ、目標達成に向けて施策を推進していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	目標達成に向けた施策の促進のためには、他課との連携が不可欠だが、目的や必要性について十分に理解や共有がされていない。
	対 策	連携の必要がある各課に対し、施策への理解・共有を促す。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本事業は「環境にやさしいまちづくり」の根幹をなすものである。平成27年度に実施した中間見直しの結果を踏まえ、市民・事業者との協働体制の更なる確立を図るとともに、継続的な施策の実施が必要である。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課	担当課長名	水浦 邦子
(※)第2期実施計画の事業名	低炭素社会推進事業	財務会計上の事業名	低炭素社会推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041 2	財務会計上の短縮番号	3569
総合計画の体系	章	第3章人.環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目1地球環境施策の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	温室効果ガスの排出を抑制し、環境にやさしい社会を形成する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	環境にやさしい設備等への補助金交付や環境教育・イベントの実施等、低炭素社会の実現に向けた啓発活動を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその他事項	地球温暖化対策の推進に関する法律第4条、環境教育等促進法第6条、住宅用太陽光発電システム設置などの各補助金交付要綱

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)	16,489	12,819	19,246	20,098	150.1%	
主な内訳	調査委託料	2,415	2,484	2,484	0	100.0%
	太陽光発電設備導入補助金	13,348	9,469	8,143	12,500	86.0%
	燃料電池システム設置費補助金			7,497	6,000	-
人件費(人・千円)	0.43 3,354	0.43 3,354	0.31 2,356	0.20 1,480	72.1%	
内訳	正職員	0.43 3,354	0.43 3,354	0.31 2,356	0.20 1,480	72.1%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0	0	0	0	-
支出合計 A	19,843	16,173	21,602	21,578	133.6%	
財源	国・府支出金	2,250	2,880			0.0%
	地方債					-
	その他( )	14,239	9,939	19,246		193.6%
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	3,354	3,354	2,356	21,578	70.2%
一般財源比率 C÷A	16.9%	20.7%	10.9%	100.0%	52.6%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	イベント実施業務、補助申請受付業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	イベント実施や補助申請受付業務などについてはアウトソーシングが可能であるが、事務量を考慮した上で費用対効果を検討する必要がある。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	119	86	76	95	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	非住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	件	7	4	2	5	-
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	太陽光発電の設置件数(累積)	件	1,000	1,200	1,300	1400	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	燃料電池システムの設置費補助件数	件	-	-	75	60	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	目標を平成32年度に設定しているため(太陽光発電の設置件数4,000件)。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	太陽光発電設備件数は年々増加しており、目的達成のための有効な内容となっている。また、27年度より燃料電池システム設置に対する補助などを実施しているところ。ただし、低炭素社会を推進するための技術は日々進化しており、より効率的に目的を達成するための手段が多様化しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	燃料電池システム設置費補助制度の追加	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度より新設した、太陽熱利用システム設置費の補助について、申請が無かったため廃止したものの。	
現在抱える課題とその対策	課 題	低炭素社会を推進するため、太陽光発電以外の技術についても普及促進を図る必要があること。
	対 策	平成27年度から燃料電池システム補助制度を新設し、低炭素社会の推進の更なる後押しを図るとともに、新技術についても情報収集を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	引き続き、太陽光発電等の設備導入補助、市民共同発電所の設置、環境イベントの実施や環境学習の普及促進を図ることで、低炭素社会の推進・意識向上を図っていく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 道路・河川課		担当課長名	和田 富士夫
(※)第2期実施計画の事業名	街路灯LED化事業		財務会計上の事業名	街路灯LED化事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3041	3	財務会計上の短縮番号	4785
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目1地球環境施策の推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	二酸化炭素排出量の削減及び電気代・修繕料の削減
事業の対象 (誰を、何を)	市内の街路灯
事業の手段・方法 (どのように)	市内の街路灯をLED灯に交換する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		8,355		13,089		14,165		4,541		108.2%
主な内訳	機器借上料	1,654		2,829		4,337		4,541		153.3%
	請負費	6,701		10,260		9,828				95.8%
人件費(人・千円)		0.28	1,574	0.27	1,496	0.25	1,310	0.29	1,291	92.6%
内訳	正職員	0.18	1,404	0.17	1,326	0.15	1,140	0.14	1,036	88.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.10	170	0.10	170	0.10	170	0.15	255	100.0%
支出合計 A		9,929		14,585		15,475		5,832		106.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(交通安全対策特別交付)		172							-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		9,757		14,585		15,475		5,832	106.1%
一般財源比率 C÷A		98.3%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	LED灯の借上げ及び設置工事について、業者に発注している
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	LED化した街路灯	基	880	1000	740	0	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	総LED街路灯数	基	2,090	3,090	3,830	5930	6000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				市内街路灯をLED灯に交換し、二酸化炭素排出量及び電気代・修繕料を削減できたため				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				市内街路灯を順次LED灯に交換することで、二酸化炭素排出量の削減と電気代・修繕料の削減につながっているため				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市内街路灯を順次LED灯に交換していく	
現在抱える課題と対策	課 題	電気代の値上りにより、電気代が削減されない
	対 策	消費電力の大きな街路灯をLED灯へ交換することにより、電気代の削減を図る
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	環境にやさしい街路灯のLED化は今後も事業推進が必要である。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	水浦 邦子
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ減量化推進事業		財務会計上の事業名	ごみ減量化推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	1	財務会計上の短縮番号	3570
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ごみの減量化と資源化を推進する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法 (どのように)	集団回収団体や回収事業者に対する補助、ごみの減量化と資源化の啓発の推進
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市集団回収奨励金交付要綱

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		5,450		5,224		6,494		5,960		124.3%
主な内訳	消耗品費	54		96		70		80		73.1%
	委託料	100		26		1,580		120		6075.0%
	補助金	5,296		5,101		4,844		5,760		95.0%
人件費(人・千円)		0.25	1,035	0.28	1,269	0.43	1,498	0.28	1,217	153.6%
内訳	正職員	0.10	780	0.13	1,014	0.13	988	0.13	962	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.15	255	0.15	255	0.30	510	0.15	255	200.0%
支出合計 A		6,485		6,493		7,992		7,177		123.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	5,450		5,224		6,494		5,960		124.3%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,035		1,269		1,498		1,217		118.0%	
一般財源比率 C÷A	16.0%		19.5%		18.7%		17.0%		95.9%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	平成27年度は一般廃棄物処理基本計画の中間確認年度となっており、課題の抽出や施策に見直しなどの業務を委託により実施。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への補助や啓発を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	集団回収量	トン	1,780	1,714	1,612	1,700	1,800
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資源化率	%	12.0	12.0	11.6	12.0	12.5
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	集団回収実施団体	団体	107	109	105	107	110
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				集団回収量が減少し、目標値に達しなかったため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由(目標値や事業費の推移についても言及して記入)			集団回収量は減少しているものの、リサイクル率上昇の有効な手段の一つとなっており、現制度の継続が効率的であると判断できるため。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	集団回収の促進に向け、啓発を行っていく。	
現在抱える課題と対策	課 題	集団回収量の減少
	対 策	ごみ減量・資源化のPRを促進し、集団回収団体数及び回収量の確保を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	集団回収制度は本市のリサイクル量の約半分を占めており、リサイクル率の向上に大きく寄与している。今後も継続的に集団回収の促進を呼びかけていく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	水浦 邦子
(※)第2期実施計画の事業名	指定袋制実施事業		財務会計上の事業名	指定袋制実施事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	1	財務会計上の短縮番号	3695
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ごみの減量・資源化を推進し、環境負荷の少ない循環型社会づくりを進める。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	燃えるごみ、燃えないごみは指定袋で、粗大ごみは処理券で排出することとし、有料で販売。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 第7条の2

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		56,273		61,771		58,639		68,700		94.9%
主な 内訳	消耗品費	31,263		37,455		32,993		39,908		88.1%
	配布管理委託料	12,476		11,892		12,559		14,289		105.6%
	指定袋取扱委託料	11,706		11,484		12,018		12,291		104.6%
人件費(人・千円)		1.29	5,792	1.29	5,792	1.79	6,524	1.28	5,482	138.8%
内 訳	正職員	0.59	4,602	0.59	4,602	0.59	4,484	0.58	4,292	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.70	1,190	0.70	1,190	1.20	2,040	0.70	1,190	171.4%
支出合計 A		62,065		67,563		65,163		74,182		96.4%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	56,273		61,771		58,639		68,700		94.9%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	5,792		5,792		6,524		5,482		112.6%
一般財源比率 C÷A		9.3%		8.6%		10.0%		7.4%		116.8%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	製造、配布管理、販売を委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	収納業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	指定販売店からの指定袋販売手数料の収納事務。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画 目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)	
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田市内のごみ排出量	トン	32,397	32,197	32,129	32,100	29,800
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		市内のごみ排出量が減少傾向にあるため。							
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に 実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついて)も言及して記入)	平成18年度の制度開始以降大幅にごみ排出量が減少し、平成24年度の制度改定以降も一貫して減少しているため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における 事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 24 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	燃えるごみ用指定袋の無料配布制度を縮小。乳幼児世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に限定。	
平成28年度の取組 (平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、平成28年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	指定袋等を使用しない不適正排出
	対 策	ごみ収集日程表や市広報誌、ホームページなどで正しいごみ分別の啓発を行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成18年度の指定袋制実施、24年度の全量有料化により、ごみ排出量の削減効果が見られるが、更なるごみの減量およびリサイクル率の向上を目指すため、引き続きごみ分別の周知など、3Rの啓発を推進する。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	水浦 邦子
(※)第2期実施計画の事業名	リサイクル推進事業		財務会計上の事業名	リサイクル推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	4	財務会計上の短縮番号	3585
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	不法投棄された特定家電4品目の適正処理 市民に適正排出を促し、リサイクルの推進を図る
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	不法投棄された特定家電4品目の処理の委託 容器包装リサイクル対象品目の再商品化の委託
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	家電リサイクル法、容器包装リサイクル法

2 事業費等

区分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		5,618		3,349		5,202		7,720		155.3%
主な内訳	印刷製本費	0		0		0		20		-
	手数料	55		50		56		200		112.5%
	処分委託料	5,563		3,299		5,145		7,500		156.0%
人件費(人・千円)		0.14	1,092	0.16	1,248	0.16	1,216	0.08	592	100.0%
内訳	正職員	0.14	1,092	0.16	1,248	0.16	1,216	0.08	592	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		6,710		4,597		6,418		8,312		139.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )			3,349		5,202		7,720		155.3%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	6,710		1,248		1,216		592		97.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		27.1%		18.9%		7.1%		69.8%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	トレイ類の異物除去業務の委託については、作業の効率化及び保管場所負担の低減に効果が見られる。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	不法投棄防止の啓発や委託業者との契約が主な業務であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特定家電4品目の不法投棄台数	台	37	26	18	20	20
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資源化率	%	12.0	12.0	11.6	12.0	12.5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		特定家電4品目の不法投棄台数が減少しているため。						
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に についても言及して記入)	特定家電4品目の不法投棄台数が減少しており、不法投棄防止啓発の成果が見られるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における 事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	家電リサイクル推進事業に容器包装リサイクル法関係を組み込んでリサイクル推進事業とした。	
平成28年度の取組 (平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	特定家電4品目の不法投棄防止と容器包装の適正な資源化のため、現状の取り組みが必要	
現在抱える課題 と その対策	課 題	資源化率の更なる向上
	対 策	適正排出の啓発を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	家電リサイクル法及び容器包装リサイクル法の施行から長期間経過し、市民の間にもリサイクルの意識は定着している。 今後もリサイクル率の向上のため、分別の徹底の啓発をはじめ各種リサイクル施策を実施していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課	担当課長名	水浦 邦子
(※)第2期実施計画の事業名	レジ袋削減等推進事業	財務会計上の事業名	レジ袋削減等推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042 5	財務会計上の短縮番号	3579
総合計画の体系	章	第3章人.環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第4節環境にやさしいまちづくり	
	項目	項目2循環型社会の形成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	レジ袋の排出抑制をはじめとする3Rの推進ならびに、ごみの減量化をめざす。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	平成18年度に設立した「池田市レジ袋削減等3R推進協議会」において、市民団体、事業者団体との協働によるレジ袋削減事業を展開する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 13 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市レジ袋削減等3R推進協議会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		100		100		100		100		100.0%
主な内訳	補助金	100		100		100		100		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.17	1,326	0.17	1,326	0.17	1,292	0.07	518	100.0%
内訳	正職員	0.17	1,326	0.17	1,326	0.17	1,292	0.07	518	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,426		1,426		1,392		618		97.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,426		1,426		1,392		618		97.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市内事業所・北摂市町村・学校などとの連携が必要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	各種イベントによる啓発活動	回	4	3	3	4	4
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	小学校への出前授業	回	3	8	9	9	10
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				各イベントでPR活動を行うとともに、小学校の出前授業にも参加できた。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	協議会には店主や婦人会などが加盟しており、多種多様な意見をくみ取ることができている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	小学校出前授業の実施。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、平成27年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	レジ袋削減に向けて、事業者・市民に対する広域的な働きかけ
	対 策	北摂都市間で連携を取り、多都市展開している事業者への広域的な働きかけや共通キャンペーンを実施していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	レジ袋削減をはじめとするごみの発生抑制を推進していくため、市民団体や事業者、学校と連携し、普及啓発を継続的に行っていく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	水浦 邦子
(※)第2期実施計画の事業名	まち角図書館補助事業		財務会計上の事業名	まち角図書館補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	6	財務会計上の短縮番号	800
総合計画の体系	章	第3章人.環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内11小学校区に無人・無施錠の本棚を設置し、24時間無料で貸し出す。
事業の対象 (誰を、何を)	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会
事業の手段・方法 (どのように)	蔵書は市民からの寄贈、本の整理などは市民団体のボランティアで実施 池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会への補助金の交付
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 元 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田のまち角に図書館をつくる運動実行委員会補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		300		150		150		150		100.0%
主な内訳	補助金	300		150		150		150		100.0%
										-
人件費(人・千円)		0.08	624	0.08	624	0.08	608	0.08	592	100.0%
内訳	正職員	0.08	624	0.08	624	0.08	608	0.08	592	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		924		774		758		742		97.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	924		774		758		742		97.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	管理運営はまち角に図書館をつくる運動実行委員会がボランティアで行っているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古本回収量	冊	8,348	8,438	6,929	8,000	8,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		広く市民に定着しており、古本回収量も安定している。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		市民の善意により低コストで運営できており、本のリサイクルに大きな役割を果たしている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	毎月の古本回収および施設の定期的な修繕を行っていく。	
現在抱える課題と対策	課 題	施設の老朽化
	対 策	施設の長寿命化をめざし、計画的に修繕を行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後もまち角図書館実行委員会と連携し普及啓発を図るとともに、老朽化した施設の修繕計画を立て、計画的な修繕を実施していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	西田 忠由
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ収集事業		財務会計上の事業名	ごみ収集事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	8	財務会計上の短縮番号	3665
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	多様化するごみの組成に対応し、収集作業の効率化と市民サービスの向上を図るとともに、収集車両の適正管理に努める。
事業の対象 (誰を、何を)	生活系一般廃棄物
事業の手段・方法 (どのように)	分別収集と指定日収集
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		64,797		72,759		71,975		78,785		98.9%
主な内訳	燃料費	7,187		7,405		5,652		6,388		76.3%
	修繕料	6,653		7,559		8,625		8,060		114.1%
	ごみ収集業務委託料	49,253		56,395		56,169		62,707		99.6%
人件費(人・千円)		61.00	318,300	61.00	318,300	53.10	279,460	53.10	270,200	87.0%
内訳	正職員	33.00	257,400	33.00	257,400	31.10	236,360	30.30	224,220	94.2%
	再任用短時間勤務職員	7.00	25,200	7.00	25,200	3.00	10,800	3.80	13,680	42.9%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	21.00	35,700	21.00	35,700	19.00	32,300	19.00	32,300	90.5%
支出合計 A		383,097		391,059		351,435		348,985		89.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	4,439		3,575		3,916		4,100		109.5%
	うち受益者負担 B	4,439		3,575		3,916		4,100		109.5%
	一般財源 C	378,658		387,484		347,519		344,885		89.7%
一般財源比率 C÷A		98.8%		99.1%		98.9%		98.8%		99.8%
受益者負担率 B÷A		1.2%		0.9%		1.1%		1.2%		121.9%
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 18年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		指定ごみ袋制度								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	粗大ごみ・紙類ごみ及び一部地域の可燃ごみの収集を業者委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	可燃ごみ、資源ごみの収集(他は委託済み)
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	人件費の差額相当分の削減
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ごみ収集量	ℓ	19,250	19,051	18,969	18,700	18,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				ごみ分別収集の徹底による減量化ならびに収集作業の効率化が図られている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	24年度から「粗大ごみ・燃えないごみ」及び「紙類ごみ」、26年度から「可燃ごみ(空き缶・空きびん)」の一部地域の収集を委託しているが、さらなる委託可能な部分があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	24年度から「粗大ごみ・燃えないごみ」及び「紙類ごみ」、26年度から「可燃ごみ(空き缶・空きびん)」の一部地域の収集を委託している	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成28年10月より、畑及び空港地域の可燃ごみ(空き缶・空きびん)の収集業務を委託する。	
現在抱える課題と対策	課 題	最終委託化率の検討。
	対 策	災害時等の緊急事務を近隣市町と連携した委託化率(概ね5割)とする。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	危機管理体制を確保しながら委託化(概ね5割)を進め、効率的な事業を目指す。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部 業務センター		担当課長名	西田 忠由
(※)第2期実施計画の事業名	し尿収集事業		財務会計上の事業名	し尿収集事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	9	財務会計上の短縮番号	3710
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	し尿収集の効率化を図るとともに、収集車両の適正管理に努める
事業の対象 (誰を、何を)	下水道未接続の便槽・浄化槽
事業の手段・方法 (どのように)	し尿の定期収集と臨時収集及び浄化槽の清掃と保守点検の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第6条

2 事業費等

区 分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		779		945		712		1,045		75.3%
主な内訳	燃料費	371		403		263		386		65.3%
	修繕料	247		329		378		400		114.9%
人件費(人・千円)		2.20	17,160	2.20	17,160	3.40	17,840	3.20	16,080	154.5%
内訳	正職員	2.20	17,160	2.20	17,160	1.40	10,640	1.20	8,880	63.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0	2.00	7,200	2.00	7,200	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		17,939		18,105		18,552		17,125		102.5%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	779		945		712		1,045		75.3%
	うち受益者負担 B	779		945		712		1,045		75.3%
一般財源 C		17,160		17,160		17,840		16,080		104.0%
一般財源比率 C÷A		95.7%		94.8%		96.2%		93.9%		101.5%
受益者負担率 B÷A		4.3%		5.2%		3.8%		6.1%		73.5%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 18年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	定時・臨時・公共収集	件	314	329	345	330	315
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	浄化槽清掃	件	70	60	58	60	60
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		し尿収集の効率化、安全作業の推進に努めた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	昭和45年頃まで許可制により収集していたが、許可区域を全面撤回し、損失補填して全市直営収集を実施した経緯があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	下水道の接続状況を把握しながら事業を実施していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	なし。
	対 策	なし。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	下水道普及率は100%となっているものの、未接続や臨時的収集など継続して事業を実施する必要がある。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ処理事業		財務会計上の事業名	ごみ処理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	10	財務会計上の短縮番号	3675
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	環境基準等を遵守した上で、廃棄物を適正に処理する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法 (どのように)	再資源化の徹底とともに一般廃棄物の適正な中間処理(焼却処理)を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(明治 33 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)	26 年度 (決算)	27 年度 (決算)	28 年度 (予算)	H27/H26				
事業費(千円)		132,909	142,736	141,484	148,802	99.1%				
主な内訳	消耗品費	57,550	58,115	56,910	58,509	97.9%				
	燃料費	3,020	4,007	5,146	5,390	128.4%				
	光熱水費	61,277	66,419	66,910	69,624	100.7%				
人件費(人・千円)		29.50	206,340	28.40	184,320	28.10	177,860	27.50	169,490	98.9%
内訳	正職員	25.20	196,560	20.90	163,020	20.60	156,560	20.30	150,220	98.6%
	再任用短時間勤務職員	1.30	4,680	4.50	16,200	4.50	16,200	3.70	13,320	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	3.00	5,100	3.00	5,100	3.00	5,100	3.50	5,950	100.0%
支出合計 A		339,249	327,056	319,344	318,292	97.6%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他( )	113,479	109,343	111,561	96,707	102.0%				
	うち受益者負担 B	113,479	109,343	111,561	96,707	102.0%				
	一般財源 C	225,770	217,713	207,783	221,585	95.4%				
一般財源比率 C÷A		66.5%	66.6%	65.1%	69.6%	97.7%				
受益者負担率 B÷A		33.5%	33.4%	34.9%	30.4%	104.5%				
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 24 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		指定袋の無料配布の廃止及び手数料の見直し、持ち込みごみ処理手数料の見直し								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図った。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	焼却施設の運転管理業務等の包括委託
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	包括委託による人件費とのコストメリットが期待できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物処理量	t	30,617	30,483	30,517	28,851	27,723
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		廃棄物の適正処理が確実に行われたため。						
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついては言及して記入)	一般廃棄物処理計画に基づき、排出抑制の徹底及び資源物の再利用化促進により、減少させることが可能。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成28年度の取組 (平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	
現在抱える課題 とその対策	課 題 焼却施設の運転管理業務等のあり方 対 策 基幹的設備改良事業の実施とあわせ、今後の焼却施設の運転管理業務等について、包括的な委託等その手法を検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	基幹的設備改良事業の実施とあわせ、今後の焼却施設の運転管理業務等について、包括的な委託等その手法を検討し、効率性の高い事業実施に努めるとともに、排出抑制の徹底等を通じ、廃棄物量そのものの削減に努め、最終処分量の削減に資するものとする。

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰
(※)第2期実施計画の事業名	ごみ処理事業(最終処分)		財務会計上の事業名	ごみ処理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	11	財務会計上の短縮番号	3675
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目2循環型社会の形成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	再資源化を促進し、循環型社会の形成に寄与するとともに、資源化できないものについては適正処理を行う。
事業の対象(誰を、何を)	市民・市内事業者から排出された廃棄物
事業の手段・方法(どのように)	資源物の選別・処理、粗大ごみ・不燃物の処理及び一般廃棄物の最終処分を、業務委託により実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(明治 33 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		25 年度(決算)		26 年度(決算)		27 年度(決算)		28 年度(予算)		H27/H26
事業費(千円)		112,340		115,743		124,139		131,852		107.3%
主な内訳	委託料	112,340		115,743		124,139		131,852		107.3%
										-
人件費(人・千円)		0.30	2,340	0.50	3,900	0.50	3,800	0.75	4,790	100.0%
内訳	正職員	0.30	2,340	0.50	3,900	0.50	3,800	0.55	4,070	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.20	720	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		114,680		119,643		127,939		136,642		106.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	114,680		119,643		127,939		136,642		106.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図った。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値(H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	最終処分量	t	4,806	4,761	4,733	4,600	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				廃棄物の適正処理が確実に行われたため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				最終処分量については、漸減傾向が見られるが、一般廃棄物処理計画に基づき、排出抑制の徹底及び資源物の再利用化促進により、今後も減少させることが可能。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き、廃棄物の適正処理を確実に実施するとともに、業務委託のあり方の見直しについて検討を行い、より経費効果の高い事業実施に努める。	
現在抱える課題と対策	課 題	業務委託のあり方
	対 策	資源化率の向上及び経費の削減等を目的とした包括的な見直しを行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	事業実施の方法について、業務委託のあり方を見直し、資源化率の向上と経費削減に努めるとともに、排出抑制の徹底等を通じ、廃棄物量そのものの削減に努め、最終処分量の削減に資するものとする。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター管理運営事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター管理事業 クリーンセンター運営事業	
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	3042	12,13	財務会計上の短縮番号	3680,3685	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	廃棄物の継続的かつ適正な処理
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	施設の保守点検等を適切に行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 58 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区分	25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26	
事業費(千円)	10,143		93,179		83,775		85,684		89.9%	
主な内訳	設備保守点検委託料	4,722	87,906		79,062		79,862		89.9%	
	燃料費	482	513		384		504		74.9%	
	光熱水費	2,082	1,698		1,555		2,100		91.6%	
人件費(人・千円)	2.60	14,180	3.30	15,440	3.00	14,100	3.70	14,650	90.9%	
内訳	正職員	1.60	12,480	1.30	10,140	1.30	9,880	1.10	8,140	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	1.00	3,600	0.70	2,520	1.10	3,960	70.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員	1.00	1,700	1.00	1,700	1.00	1,700	1.50	2,550	100.0%	
支出合計 A	24,323		108,619		97,875		100,334		90.1%	
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	65	103		107		91		103.9%	
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	24,258	108,516		97,768		100,243		90.1%		
一般財源比率 C÷A	99.7%		99.9%		99.9%		99.9%		100.0%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	民間委託により、コスト削減及び事務簡略化を図りながら、良好に施設の管理運営を行うことができています。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	既に大部分の業務をアウトソーシングしており、直営業務の委託によるコスト削減等は期待できない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物受入停止日数	日	0	0	0	0	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		廃棄物の受入停止を生じさせることなく、施設の安定稼働を達成したため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	設備保守点検に係る各種業務を着実に実施することで、環境基準等を遵守した上で、廃棄物の適正処理が継続的に行われているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	定期点検整備業務委託について、平成26年度から2か年、入札による業者選定を実施し、透明性・競争性の担保を図った。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	職員の意識向上及びスキルアップを図りながら、効率性と質を両立した管理運営に努める。	
現在抱える課題と対策	課題	効率的な施設の管理運営の実施
	対策	職員の意識向上及びスキルアップを図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	職員一人ひとりが、モチベーションを高めながら、効率性と質を両立した管理運営に努める。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター修繕事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター修繕事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	14	財務会計上の短縮番号	3690	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	クリーンセンターの安定稼働を確保し、廃棄物処理を円滑に進める。
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	施設の予防保全等適切な維持管理を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 58 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区分		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26
事業費(千円)		249,946		168,879		129,194		110,000		76.5%
主な内訳	修繕料	249,946		168,879		129,194		110,000		76.5%
										-
人件費(人・千円)		0.90	4,920	1.10	6,480	1.10	6,360	1.10	6,240	100.0%
内訳	正職員	0.40	3,120	0.60	4,680	0.60	4,560	0.60	4,440	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.50	1,800	0.50	1,800	0.50	1,800	0.50	1,800	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		254,866		175,359		135,554		116,240		77.3%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	254,866		175,359		135,554		116,240		77.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	包括管理契約により導入することが可能。
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	運転管理とあわせて委託を行うことで事務を合理化することは可能。人件費の面でのコスト削減も期待できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	廃棄物受入停止日数	日	0	0	0	0	0
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		廃棄物受入の停止を生じさせることなく、施設の安定稼働を達成したため。						
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついて言及して記入)	平成28年度以降実施する基幹的設備改良工事の実施と相まって、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施することが必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における 事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	基幹的設備改良工事を踏まえ、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとし、予算規模を縮小するもの。	
平成28年度の取組 (平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	基幹的設備改良工事を踏まえ、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとし、予算規模を縮小するもの。	
現在抱える課題 とその対策	課 題	基幹的設備改良工事後の予防保全と計画的な修繕の実施
	対 策	経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕工事の実施に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成29年度から31年度までの基幹的設備改良工事の期間中は、現行炉の修繕に限るため、不要不急の修繕は行わず、改良工事に入るまでの間の延命化に努めることとする。 基幹的設備改良工事の完了後は、経費効果と安定稼働の両立ができるよう、予防保全と計画的な修繕を実施することとする。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部クリーンセンター		担当課長名	宮崎 泰	
(※)第2期実施計画の事業名	クリーンセンター基幹改良事業		財務会計上の事業名	クリーンセンター基幹改良事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	15	財務会計上の短縮番号	3698	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目2循環型社会の形成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	クリーンセンターの安定稼働を確保し、廃棄物処理を円滑に進める。
事業の対象 (誰を、何を)	クリーンセンター
事業の手段・方法 (どのように)	二酸化炭素排出抑制事業費交付金を活用し、基幹的設備改良工事を実施し、施設の長寿命化を図る。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 28 年度 ～ 平成 31 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、池田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

2 事業費等

区 分		25 年度 (決算)		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (予算)		H27/H26		
事業費(千円)						16,200		53,697		-		
主な内訳	委託料					16,200		432		-		
	工事請負費							53,265		-		
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.70	4,120	1.40	8,460	-		
内訳	正職員	0		0		0.40		3,040		0.90	6,660	-
	再任用短時間勤務職員	0		0		0.30		1,080		0.50	1,800	-
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0		0		0	-	
	非常勤職員	0		0		0		0		0	-	
	臨時的任用職員	0		0		0		0		0	-	
支出合計 A		0		0		20,320		62,157		-		
財源	国・府支出金					5,400		21,412		-		
	地方債							27,300		-		
	その他( )									-		
	うち受益者負担 B									-		
	一般財源 C	0		0		14,920		13,445		-		
一般財源比率 C÷A						73.4%		21.6%		-		
受益者負担率 B÷A										-		
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し						
上記の内容												

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	長寿命化総合計画の策定及び発注支援業務の実施にあたっては、地域計画の策定とあわせ、公募プロポーザルによる業者選定の上、民間委託により実施。経費効果とともに一定の質を担保した計画策定が達成された。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	地域計画の策定			完了			-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	長寿命化総合計画の策定			完了			-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	発注支援業務の実施			完了			-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	基幹的設備改良事業の実施				実施	実施	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				平成31年度における基幹的設備改良事業の完了に向け、長寿命化総合計画の策定及び発注支援業務が完了したため、28年度に事業者を選定し、実施設計を行い、工事に着手。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか (改善の余地がない)			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				LCC(ライフサイクルコスト)の面での有利さや新施設整備時における予定地の確保及び住民合意の形成の困難さから、平成46年度までの延命化を図ることとしたところ。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	基幹的設備改良事業について、業者選定を行い、実施設計を経て、1炉の改修工事を開始する。	
現在抱える課題と対策	課 題	基幹的設備改良事業の効果的な実施
	対 策	本工事に要する費用の適正化を図るとともに、着実な進捗に向けた管理を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成29年度以降、31年度に事業が完了できるよう着実な工事の進行管理に努める。また、二酸化炭素排出抑制事業費交付金の活用等にあたり、適切な事務執行に努める。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	水浦 邦子
(※)第2期実施計画の事業名	ふくまるカーシェアリング事業		財務会計上の事業名	ふくまるカーシェアリング事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3042	19	財務会計上の短縮番号	3562
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち		
	節	第4節環境にやさしいまちづくり		
	項目	項目3地域環境の向上		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	車の過剰な利用を抑制することによって温室効果ガスの排出を削減し、低炭素社会の構築を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市民、事業者
事業の手段・方法 (どのように)	複数の会員が共同で車を利用するカーシェアリングの普及を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (予算)		H27/H26	
事業費(千円)	3,329		2,957		2,714		0		91.8%	
主な内訳	駐車場借上料	2,844	2,519	1,373	0	54.5%				
	修繕料	0	278	562	0	202.2%				
	消耗品費	0	0	0	0	-				
人件費(人・千円)	0.22	1,716	0.22	1,716	0.22	1,672	0.00	0	100.0%	
内訳	正職員	0.22	1,716	0.22	1,716	0.22	1,672	0	0	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	0	0	0	-	
	非常勤職員		0	0	0	0	0	0	-	
	臨時的任用職員		0	0	0	0	0	0	-	
支出合計 A	5,045		4,673		4,386		0		93.9%	
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )	3,329								-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,716		4,673		4,386		0		93.9%	
一般財源比率 C÷A	34.0%		100.0%		100.0%		0.0%		100.0%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	市とダイハツ工業・タイムズ24の協働により効率的に運営されているため。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	温室効果ガスの年間排出量削減	トン	12	12	12	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	車両を配置した小学校区の数	小学校区	10	10	10	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市内の会員数(各年度3月末)	人	990	1,235	1,384	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	車両提供期間の終了にともない、H28年3月末で事業を終了しH28年度からは事業者の独自運営になる。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	着実な会員の増加からカーシェアリングの普及、利用促進が図られているものと考えられるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	全10ステーションのうち、6ステーションを閉鎖・4ステーションを委託業者へ移管し本事業を終了した。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度末で事業終了。	
現在抱える課題と対策	課題	周辺に代替ステーションがないステーションの廃止への対応。
	対策	利用者に対し、看板・メールなどの媒体で事前周知を行った。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	これまでの事業実施により市民の間にカーシェアリングが浸透、民間カーシェアリングステーションも普及し、初期の目標を果たしたため。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境をまもる課		担当課長名	上原 正和	
(※)第2期実施計画の事業名	環境監視対策事業		財務会計上の事業名	環境監視対策事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043	1	財務会計上の短縮番号	3560	
総合計画の体系	章	第3章人.環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目3地域環境の向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	公害発生の抑制と環境基準の達成
事業の対象 (誰を、何を)	工場、事業所
事業の手段・方法 (どのように)	水質、騒音等の測定を定期的実施するとともに、工場・事業所に対して立入り調査をし、規制基準の遵守の確認・指導を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	騒音規制法、振動規制法、及び池田市環境保全条例等

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26					
事業費(千円)	3,258	2,933	2,680	4,467	91.4%					
主な内訳	調査委託料	2,658	2,584	2,423	3,853	93.8%				
	自動車借上料	215	137	137	137	100.0%				
	燃料費	75	73	62	104	84.9%				
人件費(人・千円)	0.60	3,696	0.58	4,368	0.47	3,478	100.0%			
内訳	正職員	0.40	3,120	0.56	4,368	0.58	4,408	0.47	3,478	103.6%
	再任用短時間勤務職員	0.16	576	0	0	0	0	0	0	-
	管理公社職員	0.04	0	0.02	0	0	0	0	0	0.0%
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
支出合計 A	6,954	7,301	7,088	7,945	97.1%					
財源	国・府支出金	587	731	676	760	92.5%				
	地方債					-				
	その他( )					-				
	うち受益者負担 B					-				
一般財源 C	6,367	6,570	6,412	7,185	97.6%					
一般財源比率 C÷A	91.6%	90.0%	90.5%	90.4%	100.5%					
受益者負担率 B÷A					-					
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	水質、騒音等の測定を業者に委託し、定期的に実施している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法律及び条令に基づいた指導であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水質、騒音等の測定	回	50	50	50	50	50
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	工場・事業所への立入り調査	回	4	1	0	1	1
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市民からの公害苦情の解決	件	59	64	63	60	60
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水道法関係の測定	回	5	3	8	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		根拠法令に基づき適正に対処し解決できたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	環境監視のため、水質と騒音の測定は不可欠である。公害苦情に関しては、関係法令に基づき処理し、苦情者の了承を得られている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	これまでの取り組みが有効、効率的であると判断し、同内容で継続実施する。	
現在抱える課題とその対策	課題	昨年に引き続き、公害発生の抑制と環境基準の達成
	対策	公害や環境基準については、測定や立入り調査により環境監視に努める。苦情処理については、迅速に対応し解決に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	測定や立入り調査により環境監視に努めるとともに、増加傾向にある公害苦情にも適切に対処していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境をまもる課		担当課長名	上原 正和	
(※)第2期実施計画の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業		財務会計上の事業名	阪神高速道路大気観測維持管理事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043	2	財務会計上の短縮番号	3555	
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目3地域環境の向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市内の大気汚染の状況を把握する。
事業の対象 (誰を、何を)	阪神高速道路大気観測局(神田、木部・新宅局)
事業の手段・方法 (どのように)	阪神高速道路大気観測局(神田、木部・新宅局)において、大気汚染物質の常時観測を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26				
事業費(千円)		6,213	6,183	6,699	4,466	108.3%				
主な内訳	管理委託料	5,355	5,616	5,508	3,672	98.1%				
	電気使用料	307	318	302	228	95.0%				
	土地借上料	156	156	156	0	100.0%				
人件費(人・千円)		0.17	1,158	0.21	1,638	0.21	1,596	0.13	962	100.0%
内訳	正職員	0.13	1,014	0.21	1,638	0.21	1,596	0.13	962	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.04	144	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員		0	0	0	0	0	0	0	-
支出合計 A		7,371	7,821	8,295	5,428	106.1%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他( )	6,213	6,183	6,698	4,466	108.3%				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	1,158	1,638	1,597	962	97.5%				
一般財源比率 C÷A		15.7%	20.9%	19.2%	17.7%	91.9%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	大気観測局の維持管理や臨時点検を業者に委託している。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指標値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	神田局大気観測 測定項目	項目	3	3	3	3	3
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	木部・新宅局大気観測 測定項目	項目	2	2	2	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		定点観測によりPM2.5など、市内の大気汚染の状況を把握できているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	市民の関心の高いPM2.5を中心とした1時間ごとの測定値を市ホームページなどで即時(リアルタイム)公開できている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成28年2月末に木部・新宅局を閉鎖。神田局のみの測定を継続。	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市内の大気汚染の状況を把握できている。	
現在抱える課題と対策	課題	財源である基金の減少。
	対策	測定局の再編を行い、コスト削減などに努める。(平成28年2月末で木部・新宅局を閉鎖)
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	引き続き、神田局の測定値により、PM2.5をはじめとする大気汚染の状況を市民へ提供していく。	

事務事業評価シート(平成27年度実施事務事業)

担当部署名	環境部環境にやさしい課		担当課長名	水浦 邦子	
(※)第2期実施計画の事業名	環境美化推進事業		財務会計上の事業名	環境美化推進事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3043	3	財務会計上の短縮番号	3565	
総合計画の体系	章	第3章人・環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第4節環境にやさしいまちづくり			
	項目	項目3地域環境の向上			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	環境美化に対する市民意識の向上を図る
事業の対象 (誰を、何を)	市民、市民団体
事業の手段・方法 (どのように)	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を広報誌などを通じて呼びかけ、多くの市民、市民団体の参加を促す。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市美しいまち推進条例

2 事業費等

区分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	H27/H26	
事業費(千円)	47	158	280	25	177.5%	
主な内訳	消耗品費	0	134	9	0	6.9%
	通信運搬費	17	17	17	25	101.7%
	補助金	30	7	23	0	328.6%
人件費(人・千円)	0.25, 1,340	0.22, 1,106	0.30, 1,218	0.22, 1,058	136.4%	
内訳	正職員	0.15, 1,170	0.12, 936	0.12, 912	0.12, 888	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.10, 170	0.10, 170	0.18, 306	0.10, 170	180.0%	
支出合計 A	1,387	1,264	1,498	1,083	118.6%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他( )			278		-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	1,387	1,264	1,221	1,083	96.6%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	81.5%	100.0%	81.5%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( 専門業務 )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業については、主に市民及び市民団体による自主的な活動への参加促進を目的としているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (予定)	目標値 (H30)	
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	清掃デー参加人数	人	4,977	5,075	4,178	4,800	4,800
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ごみ散乱防止ケージ補助金交付件数	件	2	1	3	-	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		清掃デーの参加人数については、天候や実施時期により増減はあるものの、一定の数の市民が参加して活動しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		地域清掃については、市民、市民団体が積極的に参加されており、環境美化意識の向上に有効的、効果的である。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	ごみ散乱防止ケージへの補助事業を開始	
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	環境美化に対する市民意識の向上を図るため、継続的に啓発等を実施する。	
現在抱える課題と対策	課題	ごみ散乱防止ケージ補助金申請・交付件数が低調で推移
	対策	平成27年度をもって補助制度を廃止した。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成29年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	ごみゼロデーや清掃デーなどの地域清掃の実施を主体とした環境美化活動を、自治会などの各種団体との連携により継続して行う。	